



先月、市役所本庁舎の市民ホールで「今、平和を考える。『沖縄本島のてんぷす（へそ）宜野座村観光物産展&沖縄本土復帰50年の歴史を学ぶ』を開催しました。地理的、人口の重心など、さまざまな形で「へそまち」を標ぼうしている全国9つの市町村で協議会をつく



▶企画展初日のオープニングセレモニーで眞村長と

っており、この協議会に宜野座村も加盟をしています。今年5月、沖縄は本土復帰50年を迎えました。この機会に改めて平和について考えてもらおうと、沖縄の歴史や現在の基地負担などに関するパネル展、PR動画の放映や、物産品の販売を行いました。物産展では、海ぶどう、塩もずく、黒糖、天然塩など沖縄らしい品々が大好評でした。

企画展の初日、オンラインで式典を行い、宜野座村の眞村長にごあいさつをいただきました。 「節目の年にこのような機会を設けていただき感謝します。この機会に村の総面積の半分以上を占める米軍施設の事にも関心を寄せてほしい。」と話されていました。

『平和は力では保たれない。平和はただ理解し合うことよってのみ達成されるのだ。』20世紀最高の理論物理学者と評されたアインシュタインの言葉です。世界では現在も紛争が続いています。誰もが平穏に暮らせるよう、今こそ改めて平和の大切さを考える必要がありますと感じています。